

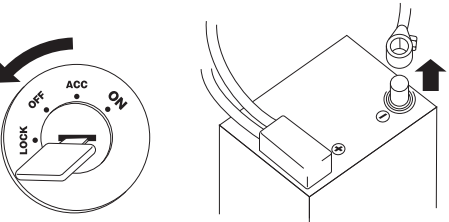
取り付け要領

パワールクスIIシステムの配線

※必ず手順に従って作業を行ってください。

1

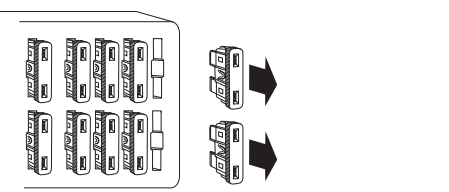
エンジンを切り、バッテリーのマイナス端子を外してください。



- ⚠ 車両側のヒューズボックス位置がわからない場合は販売店で取り付けをおすすめします。
- ⚠ エンジン停止直後のエンジンルーム内は高温で非常に危険です。エンジンルーム内の作業をする場合は、十分に冷えた後、行ってください。

3

車両の取扱説明書またはヒューズボックスのカバー、及び周辺に記載されたヒューズの配置図を参照し、右ライト及び左ライトのヒューズを抜いてください。



※ヒューズは左右のライトに各 1個づつ、合計2個あります。

- ⚠ ライトヒューズを抜いた際隣り合った他のヒューズの差し込みが甘くならないようにご注意ください。
- ⚠ ヒューズハーネスへのヒューズ差し替えは奥まで確実に差し込みしっかりロックしてください。ロックを怠るとヒューズ外れによる誤動作の恐れがあります。

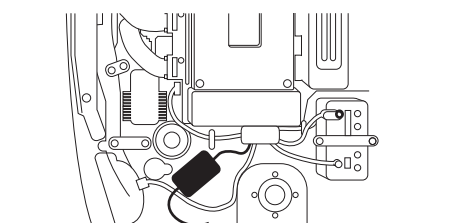
作動チェック

システムが正常に作動するかチェックします。

- ⚠ 必ず左右のシステムの取り付けを完了してから作動チェックを行ってください。
- ※ランプ警告灯の付いている一部車両では、警告灯が点灯したままになることがあります、異常ではありません。

1

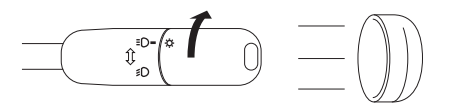
ユニット及び配線をエンジンルームに設置した場合、エンジン回転時に車両可動部に干渉する恐れがないかチェックします。



- ⚠ エンジンルームに設置した場合は、ファンベルトや電動ファンなどにユニット・配線が巻き込まれないことを確認してください。
- ⚠ 高温になる可能性のある場所は避けて、風通しのよい場所に設置してください。
- ⚠ ユニートを不安定な場所に置いてエンジンを始動すると、回転時の振動でユニットが動いてしまい、ファンベルトや電動ファンなどに巻き込まれてしまう可能性があります。確実な位置に設置してください。

3

ヘッドライトを点灯させ、約 1秒後にシステムが作動し光量が増加すれば、正しく装着されています。



- ⚠ バッテリーが弱っていたり、発電機オルタネーター) に不具合があると正常に作動しません。
- (参考) バッテリー電圧が 10V 以下の場合はブーストアップを中止し、ノーマル点灯となります。

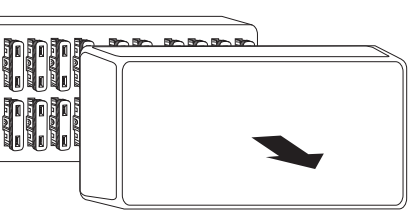
製品固定

正常な作動が確認できたら、配線やエイトを付属のクランプバンドやユニット固定ブラケットを使用して、室内若しくはエンジンルーム内に確実に固定してください。

- ⚠ エンジンルーム内にヒューズボックスがある場合は、確実にヒューズカバーを取り付けて下さい。
- ⚠ ヒューズカバーが付いている車両は、配線を取り出す為、カバーに加工が必要となります。
- ⚠ 当ユニットは防水処理されておりますが、できるだけ水などがかからない場所に固定してください。また、配線なども、走行時ファンなどに巻き込んだり、ボンネットにはさまないように注意して固定してください。
- ⚠ 当ユニットを室内に設置する場合、ペダル類、ステアリング及びその他操縦系統に干渉するような位置へ設置しないでください。

2

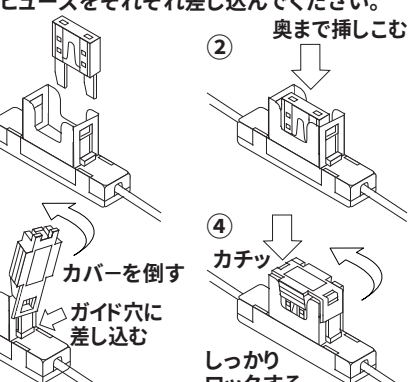
車両の取扱説明書を参照し、ヒューズボックスの位置を確認して下さい。



⚠ ヒューズボックスの位置・形状は車両によって異なります。

4

パワールクスIIシステムのヒューズハーネス上にある2個のヒューズボックスに、車両のヒューズボックスより抜いた2個のヒューズをそれぞれ差し込んでください。



奥まで挿しこむ

カチッ

しっかりロックする

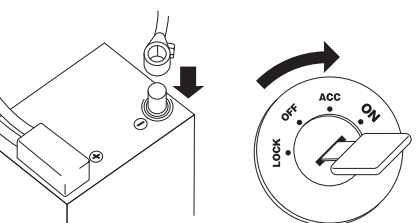
カバーを倒す

ガイド穴に差し込む

- ⚠ ライトヒューズを抜いた際隣り合った他のヒューズの差し込みが甘くならないようにご注意ください。
- ⚠ ヒューズハーネスへのヒューズ差し替えは奥まで確実に差し込みしっかりロックしてください。ロックを怠るとヒューズ外れによる誤動作の恐れがあります。

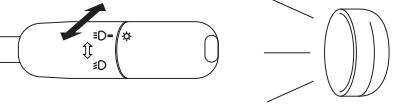
2

バッテリーのマイナス端子を接続し、エンジンを始動します。



4

ロービームからハイビームを点灯した場合は、連続動作し光量増加のまま切り替わります。

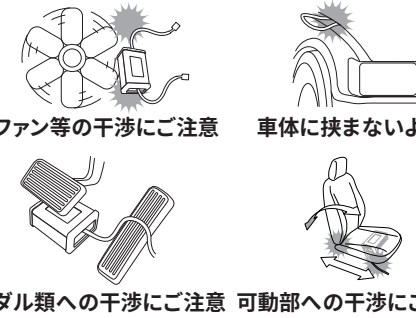


ファン等の干渉にご注意

車体に挟まないように

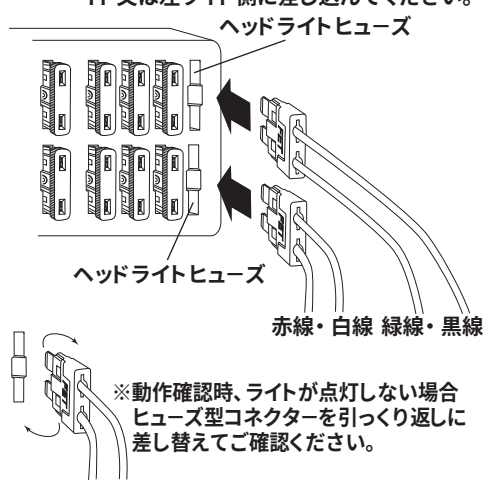
ペダル類への干渉にご注意

可動部への干渉にご注意



5

パワールクスIIシステムのヒューズ型コネクタ用に抜いたヒューズの替わりに車両のヒューズボックスに差し込みます。



① 緑線・黒線のヒューズ型コネクタを右ライト又は左ライト側に差し込んでください。

② 赤線・白線のヒューズ型コネクタを右ライト又は左ライト側に差し込んでください。

ヘッドライトヒューズ

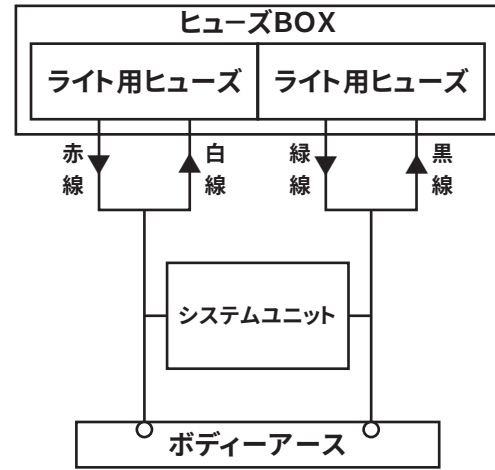
ヘッドライトヒューズ

赤線・白線 緑線・黒線

※動作確認時、ライトが点灯しない場合ヒューズ型コネクタを引っくり返しに差し替えてご確認ください。

- ⚠ コネクタの接続は確実に行ってください。
- ⚠ ヒューズ型コネクタには極性があります。「作動チェック」時に作動する向きを探してください。

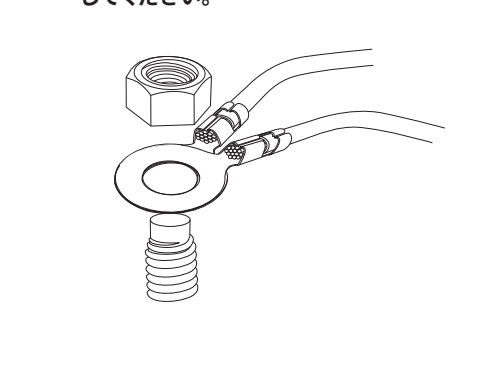
システム構成図



- ⚠ ヒューズ型コネクタは、必ずエイトごとに片側(右ライトまたは左ライト) 1つで接続してください。

6

パワールクスIIシステムのアース線をボディーアースの十分取れる位置に接続してください。



⚠ アース線には最大10Aの電流が流れます。室内であればシートを固定しているアンカーボルトで接地してください。

- ヒューズボックスのカバーは必ず閉めてください。雨水、ほり等の付着によりショートし機器を破損させる恐れがあります。
- ヒューズボックスのカバーを取り付ける際はヒューズコネクタの挟み込みにご注意ください。配線部に無理な力がかかりますと思われ故障、事故の原因となります。その場合はカバーの切り込み等の加工が必要となります。(切り込み部はヤスリ等で面を整えてください。)
- システムユニット及びヒューズコネクタは付属のブラケットやクランプバンドにて確実に他の機器に干渉しない所へ固定してください。
- アースは確実に取り付けてください。取り付け個所に塗装面がある場合はヤスリ等で塗装をはがし金属部分に接するようにお取り付けください。

トラブルシューティング

エンジンがかからない

↓

◇バッテリーのマイナス端子はしっかり接続されていますか？

エンジンルームから異音がある

↓

◇ユニット及びケーブルの干渉はありませんか？

◇ユニット固定用ブラケットの取り付けボルトが緩んでいませんか？

ライトが点灯しない

↓

◇ライトヒューズは切れていませんか？

◇ヒューズ型コネクタはしっかり差し込まれていますか？

◇バルブが切れていませんか？

ブーストアップしない

↓

◇アースは確実に取れていますか？

◇ヒューズ型ハーネスの差し込み場所は正しいですか？

◇ヒューズ型ハーネスの極性が逆になっていませんか？

◇ヒューズ型ハーネスに用いたヒューズは切れていませんか？

◇バッテリー電圧が低下していませんか？

◇オルタネーター(発電機) は異常ありませんか？

補足事項

- ユニットを外す場合は、取付けと逆の手順で行ってください。
- 外したシステムは元の箱に収納して保管してください。その際、高温になる場所や、湿気の多い場所を避けて保管してください。再びシステムを装着される場合は、コネクタやコード類等の劣化をチェックし使用されることをおすすめします。
- 当システムを使用しますと、バルブの寿命が若干短くなります。

■車検について
パワールクスIIシステムは、車検適合品として設計・製造しておりますが、検査合格を保証するものではありません。車検場・検査官によっては不合格になる場合もあります。その場合は、エイトを取り外してから検査を受けてください。

別売

延長ハーネス 1mセット取り付けのしかた

◇ユニットの固定位置によっては、パワールクスIIユニットのハーネスだけでは長さが足らなくなる場合があります。その様な場合は、別売の延長ハーネスをお買い求めください。



システムユニット

延長ハーネス

アース

ヒューズボックス